

江戸時代庶民文庫

〈第2期(61〜100巻)〉好評配本中

新たな江戸時代の魅力を発見する一大叢書

面白く
そして楽しく
大江戸に生きる



〈図版〉75巻より
上・中⇨神事行灯
下⇨絵本池の蛙



江戸時代
庶民文庫で
江戸庶民の生活の輪に加わる

〈第2期〉
第3回配本
(第71〜75巻)

学術資料出版
大空社出版

〈第2期〉第3回配本

全5巻(第71~75巻)

* 2019年4月刊

収録内容紹介

第71巻【戯文】

(収録16点)

第71巻は、商売往来系・名所往来系・用文章系・百人一首系・三十六歌仙系・和算系の順に配列。
*は桂文治・十扁舎・一・立田土瓶作『大寄噺の尻馬』にも収録されている。

〈新ばんおどけ〉商売往来(しんばんおどけ) *立田土瓶作。江戸後期刊。「大阪」本屋安兵衛(松栄堂)板。▽『商売往来』(元禄7・1694年)に做った戯文で、遊女の心得や通用の語句を書き記した準往来物。▽『商売往来』

厄払ひ商売往来(やくばらいしやうばい) *立田土瓶作。江戸後期刊。「大阪」本屋安兵衛(松栄堂)板。▽鼈甲屋・筆屋・豆腐屋・紺屋・張形屋・人形屋を題材に、除災招福の趣きを七五調で綴った6項の戯文。

〈おどけていきん〉道楽往来(おどけていきん) *華山亭呼升作。江戸後期刊。「大阪」刊行者不明。▽『商売往来』にならって道楽者の生涯を書き記し戒めとした戯文。幼少の頃より悪行の限りを尽くして手習い学問には身を入れず、親や師匠の異見は聞かず、奉公先でも全く勤まらず、成人するに及んでさらに遊興に耽つた成れの果てを示す。

〈大坂色里名寄づくし〉京名所かへ文章(おおさかいろしなよづくし) *十扁舎一九(世系不詳)カ/江戸後期刊。「大阪」本屋安兵衛(松栄堂)板。▽京都の由来や京周辺の名所旧跡を紹介する『京名所(洛陽往来・都往来・都巡とも)』の文章に似せて新町遊廓を始めとする大坂の遊廓と遊里風俗を記した戯文。

滑稽道外案文(けっけいどうがいあんぶん) 鼻山人(細河並輔・東里山人)作。松亭金水(中村経年・保定・金水道人)序。溪斎英泉(池田善次郎・池田義信・一筆庵可候・楓川市隠)画。江戸後期(文化頃)刊。「江戸」玉泉堂(布袋屋市兵衛)板。▽『附会案文』(享和4・1804年)を模倣した滑稽本。奇抜な題材で綴った戯文である。「書札妙智力難文」と「諸用附会奇妙案文」の二部からなり、前者は冒頭に絵目録を掲げた18通、後者は22通を収録、本文の途中に著者が士農工商別に詠んだ狂歌4首も掲げる。数種の異板があるが、本巻には『滑稽道外案文』『どうけ用文』の2種を収録。

虫三ヶ仲間洗濯所へ願出(むしさんか仲間せんたくしよへねんしゅつ) *桂文治カ/江戸後期(天保頃力)刊。刊行者不明。▽表紙に擬人化した蚊・蚤・虱の三者に対する「洗濯所」の申し渡し風景を描く、虫三ヶ仲間に対する洗濯所の申し渡し「洗濯所より御申出しの事」と、それに対する「乍恐奉願上候三ヶ仲間より口上書」の二通から成る戯文。自らの不埒を人間の迫害などに責任転嫁する滑稽な戯文に作る。

いたづらもの製菓種(いたづらものせいこうしゆ) 作者不明/江戸後期刊。刊行者不明。▽(石見)銀山御菓種より鼠共人御申出之事(鼠共え申渡し之事)と「鼠仲間より願ひ出る事(鼠共奉申上候口上書)」の二通の書状形式で綴った戯文。前者は石見銀山製菓所から鼠仲間宛の文書で、鼠どもが迷惑千万で、ますます不埒な働きをなすので、慎まなければ毒菓(砒素)で皆殺しにすると言い渡す。それに対する後者は、鼠仲間惣代から石見銀山製菓所宛の文書で、鼠達が置かれた食糧難の窮状と事情を訴え、己の正当性を主張し、今後は善良な福鼠になるべく努力するので鼠を根絶やしにする毒殺を中止して欲しいと訴える。

乍恐奉願ひ上候魚仲間より返答書(あつこふねんがひあがうけいさかひよりへんたふしやう) *立田土瓶作。長秀画。江戸後期刊。「大阪」本屋安兵衛(松栄堂)板。▽「とら」とし新ばん)板もと台所御料理人様え奉願上候・魚仲間より返答書(魚仲間返答書)と「青物仲間ども台所板元役所え御願上口上書(青物仲間口上書)」の二種類の戯文を収録。前者は魚介類が人間を養う重要な食物であり、豊富な魚介類が人間生活といかに密接であるかを述べ、魚仲間を青物仲間よりも重視して欲しいと訴える。後者は青物が日々三度の食事に不可欠で人間生活のあらゆる場面で活躍することなど、青物仲間を上位に位置づけるよう懇願する。このように魚仲間と青物仲間の対立を題材にした戯文である。

〈青物づくし・くちあい〉奉公人請状之事(あおもものついでにせうじょうじ) *梅翁作。江戸後期刊。「大阪」本屋栄次郎板。▽奉公人請状と宗旨手形を模した二通から成る戯文。第一通は、松茸屋志免治郎に対して奈良漬屋瓜四郎が奉公人ふきの身元を保証する形式の請状として書かれ、文面に多彩な青物類を盛り込む。第二通は、文中に多くの魚類の名称を織り込んで綴った宗旨手形風の戯文で、全文に地口やもじりが込められている。



滑稽道外案文



〈大坂色里名寄づくし〉
京名所かへ文章



〈おどけていきん〉道楽往来



〈新ばんおどけ〉商売往来

各巻分売可

*ご希望の巻を選んでお求めになれます！

江戸時代庶民文庫

〈百人一首〉地口絵手本 (ひやくにんいっしゅ) 梅亭樵父作・序・画。江戸後期刊。刊行者不明(「名古屋」東壁楼の書籍広告付)。
▽『小倉百人一首』の下の句のみを掲げ、それをもじった地口と挿絵を掲げたもの。

道戯百人一首 (どうげひゃくにんいっしゅ) 山東京伝(岩瀬醒・北尾政演・醒斎・菊亭主人)編・序。享和4年(1804)初刊。江戸後期後印。
「江戸」鶴屋喜右衛門(仙鶴堂)板(序文)。▽歌舞伎の道化方が笑いを誘うような滑稽味を主とする狂歌を集めた異種百人一首。本書を古くから伝わる「小倉山の百首の翻案」ともじりとし、これが道化方に似ていることから『道化百人一首』と称した。巻頭に「職人八景」と題した狂歌8首と挿絵を掲げる。

どうげ百人一首 (どうげひゃくにんいっしゅ) 作者不明/文化5年(1808)刊。「江戸」和泉屋市兵衛板。▽前掲『道戯百人一首』と同様に、滑稽主体の狂歌集・異種百人一首。江戸前期から伝わる『道外百人一首』の改編本と思われる。本文は、半丁四コマの柘目に挿絵を添えて100首を収録する。また巻頭に三夕の和歌を掲げる。また、異本の江戸後期(「安政六年」)の書き入れあり)刊『道外百人一首』(柱題「どうげ百人」)も収録したが、巻頭の和歌と挿絵が全く異なるうえ、本文にも種々異同が見られる。

道外三十六歌仙・新撰なぞづくし (どうげさんじゅうろくさむらい) 作者不明。江戸後期(天保頃)刊。「江戸」山口屋藤兵衛板。
▽三十六歌仙に見立てて、和歌三神・六歌仙・三十六歌仙・中古三十六歌仙・小倉百人一首・女房三十六歌仙から任意に選んだ和歌36首をもじった狂歌集。頭書に76題の謎かけ集を掲げる。

笑艸三十六歌仙 (しょうそうさんじゅうろくさむらい) 作者不明/江戸後期刊。刊行者不明。▽『小倉百人一首』等の和歌をもじった狂歌を半丁六首ずつ、合計36首を収録した青色刷の小冊子。本文等に挿絵はないが、上巻表紙に衣冠姿の歌人を描く。

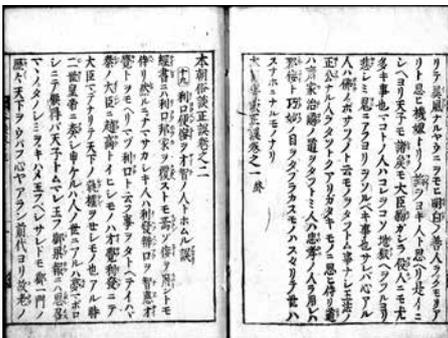
馬鹿三人酒づくしきやうくん (ばかさんびんしゅづくし) 作者不明/江戸後期刊。「江戸」三ツ木板。▽『小倉百人一首』等の和歌を題材に、三十六歌仙に見立ててもじった狂歌を集めたもの。刷表紙に三人の馬鹿者を描いた小冊子。いずれも飲酒に因んだ滑稽な狂歌ばかり36首を挿絵と共に掲げる。

〈通客必用〉算法珍書 (つうきゃくひつよう) 酒落斎唐人(柳川春三・喫霞楼仙客・喫霞仙人)作・校・序。鼓腹庵狸友校。明治元年(1868)12月、ゆめのや桜痴(福地桜痴・福地源一郎)序。明治2年春刊。「東京」上州屋惣七(中外堂)板。▽書名は和算書『算法新書』のもじりで、どの問題も戯文で珍問を31題掲げるが、単なる戯文に止まらず、文明開化期の社会における皮肉や諷刺が随所に込められており、「我国最初の西洋数学者」たる著者による「維新革命に際して、稀に見る所の、最もナンセンス味ある一数学書」(小倉金之助)と評される。

第72巻 【故事・俗説】 (収録2点)

本朝俗談正誤 (ほんちょうじやうだんせいご) 作者不明。元禄3年(1690)8月序。元禄4年7月刊。「京都」書林(某)板。▽埋謬・伝承・俗説等の典拠やその正誤を改めた書。寛永年間に「伊東氏某左近将監某」が童蒙に示した教訓書を平易な仮名書きの俗文に改めたもので、合計70話を収録する。諸説の正誤を改め荒唐無稽な俗説を否定し、多く出典等を明記するなど考証的態度で記述する。

和漢故事談 (わかんじしやうだん) 挙扇堂静栄作。宝永元年(1704)、昌陽軒序。寛延元年(1748)11月求板。「京都」岡権兵衛板。▽和漢の諸書から種々の故事・奇談・善事等、合計27話を集めて解説し、出典を示した書。宝永1年5月刊『和語連珠集』(「京都」鳥崎忠兵衛ほか板)の求板改題本。



本朝俗談正誤(72巻)



和漢故事談(72巻)

馬鹿三人酒づくし
きやうくん

ヴィジュアル資料
多数収載！



〈通客必用〉
算法珍書



道戯百人一首



〈百人一首〉地口絵手本



嘆門招福
樂地三夏

第73巻【仏教】

(収録4点)

八宗伝来集 (はつしゅうてい) 作者不明。正保四年(1693)11月刊。「京都」平田半左衛門板。▽日本に伝来した仏教の八宗派、すなわち、南都六宗の法相宗・三論宗・俱舍宗・成実宗・律宗・華嚴宗と、平安・二宗の天台宗・真言宗が日本に伝播した経緯や諸宗の概要を問答形式で記した書。鎌倉新仏教である禅宗・浄土宗・日蓮宗・時宗の成立・展開・本地(本山)等も述べる。

仏道問答 (ぶつどうもんたう) 智留作。亮融(豁堂)跋。享保6年(1721)閏7月作。文政11年(1828)、松平定常(池田定常・池田冠山・不軽居士・君倫)序・刊。刊行者不明。▽問答形式で仏道や修行のあらまし全12問について説いた書。仏道修行の根本は信心であると論ずる。

仏道手引草 (ぶつどうてしやくそう) 大賢鳳樹(石竜道人・芻狗子)作。文政2年(1819)8月作。文政3年3月、木雞敬序・刊。「仙台」輪王蔵板。「江戸」和泉屋庄次郎製本。▽和漢の諸書を参酌しつつ仏教の歴史や仏教史上の人物故事、また仏教の根本教義を平易に説いたもの。

不思議問答 (ふしぎもんたう) 翫山作・序。東南画。天保13年(1842)序・刊。「京都」中尾三衛門ほか板。▽それぞれ二人の人物や二地域でやりとりされる問答や問答歌の形式で綴った絵入りの通俗教訓書。仏説由来の言説に止まらず、教訓的な戯文も多く含む。

第74巻【農業】

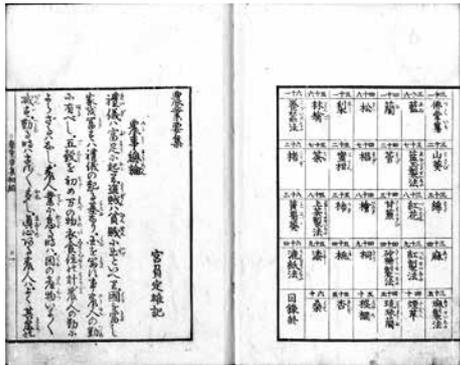
(収録5点)

除蝗録 (じゆりやく) 大蔵永常(黄葉園)作・跋。長谷川雪旦(宗秀・一陽庵・岩岳斎)画。文政9年(1826)1月、奥山翼序。文政9年2月、黄葉園跋。文政9年3月、佐藤担(二斎)序・刊。「江戸」黄葉園(著者)蔵板。▽農業による害虫駆除法を説いた最初の文献で、凶作の主要因である害虫(特にウンカ(浮塵子))の駆除に鯨油が効果的なことを述べ、鯨油の使用方法を論じた農書。作者は既に『老農茶話』や『豊稼録』で害虫駆除について説いたが、版木焼失のため、さらに詳しい本書を改めて刊行した。

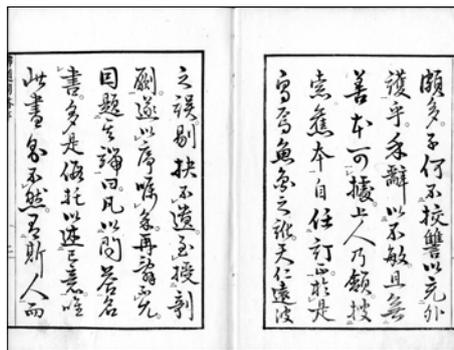
農業要集 (のうぎようしゅう) 宮負定雄(佐平)作・序。文政9年(1826)3月作・自序。文政9年6月、平田篤胤序・刊。「下総国香取郡」著者蔵板。▽宮崎安貞編『農業全書』(元禄10・1697年)に漏れた事柄と、作者が「種芸」を勤めて自得した知見のうち同書と異なる事柄をまとめた農書。農人の日用業務に関する記事も収録し、市場における「値段割合」など農業経営上の知識の重要性を訴え、下総国における農作物の標準的な値段を明記した点が注目される。

穂立手引草 (ほたててしやくそう) 酔吟子(酔吟居)編・序。篠原遷外画。文政11年3月(1828)刊記。同年6月自序・刊。「江戸」西成堂蔵板。「江戸」岡田屋嘉七ほか売出。▽五穀や農事関連の故事、また、穀類の栽培、特に選種について記した農書。図解を交え、俗語で詳述し、編者自ら実証済みの知見と太鼓判を押す。挿絵も豊富。

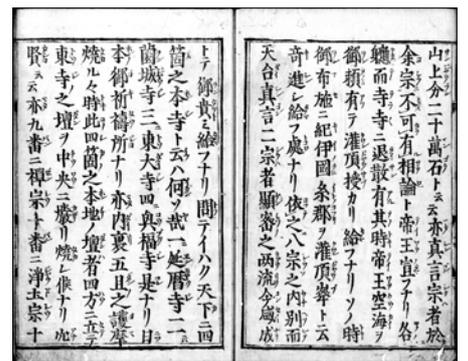
農業蒙訓 (のうぎようもんくん) 伊藤正作(信前・耕楽舎)作。貫名包(海屋・子善・松翁)序。天保10年(1839)2月序。天保10年7月作。天保11年刊。「若狭」寧止堂蔵板。▽若狭国河原市村(現・福井県美浜町)の庄屋である作者が、先行農書の数々を参酌しながら北陸に適した知見をまとめた農書。種々の農業技術を合計34カ条にまとめる。自ら試して利得を確認できた知見を記したことに言及した上で、金銭才覚のある農人、百姓の忠勤、人真似ではなく人に先んじて努めるべきことなどを論ずる。



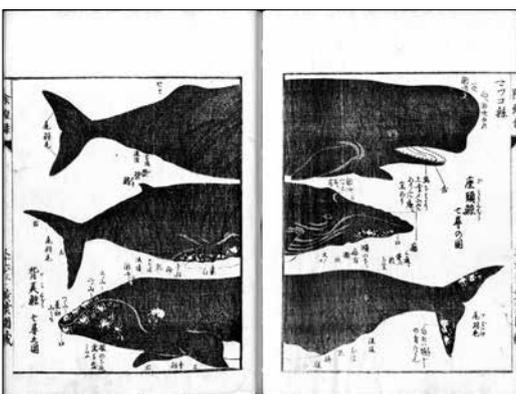
農業要集(74巻)



仏道問答(73巻)



八宗伝来集(73巻)



除蝗録(74巻)



不思議問答(73巻)

図版は第3回配本収録資料より

第75巻【絵本】

(収録2点)

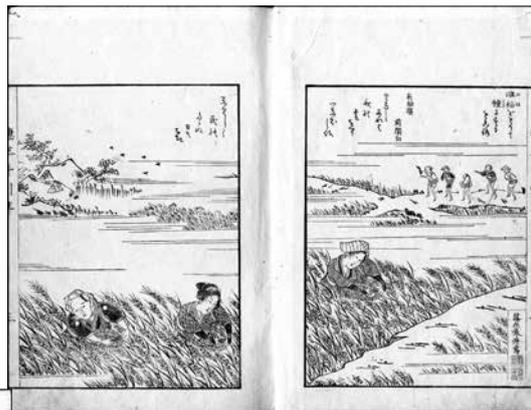
農家心得種 (のうかこころず) 手塚敬義 (含章) 作・序。永嶋頭 (安竜) 校。天保14年 (1843) 9月自序・刊。
 「江戸」文溪堂 (丁子屋平兵衛) 板。▽著者自身の体験や見聞を種々の文献や照らし合わせながら、
 農家の急用に備えるために、主に農家に身近な植物・食物に関する保健衛生上の知識や心得を一冊に
 まとめた簡易な農民必携・生活百科。農村の生活心得や処世訓全般にわたって縷々説いている。

絵本池の蛙 (ゑほんのいけのかき蛙) 東鶴 (赤松堂) 作・序。西川祐信 (自得叟・文華堂) 画。延享2年 (1745)
 初刊。明和5年 (1768) 1月再刊。「京都」菊屋喜兵衛求板。▽『枕草子』の「ものづくし」に準じ、
 各巻の歌題として詠んだ狂歌と挿絵で構成した絵本。いずれも、世俗の日常生活における一場面をと
 らえた「憎い」「おかしい」「嬉しい」事柄を、あるいは皮肉や揶揄、あるいは滑稽や共感を込めて詠
 んだ狂歌81首を収録。祐信の挿絵も当時の世相や風俗を生き生きと映し出す。

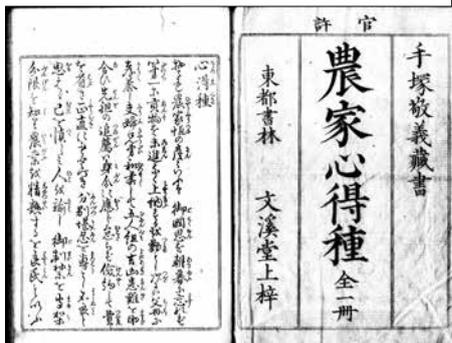
神事行灯 (じんじぎょうとう) 初編：大石真虎 (小泉真虎・樵谷・軻舎) 画。二編：花笠文京 (花笠外史) 序。
 歌川国芳画。三編：小笠山樵 (疎放) 序。溪斎英泉 (池田英泉) 画。四編：歌川国直画。五編：一筆
 庵英泉 (溪斎英泉) 画。初編：文政12年 (1800) 4月、乗清序。四編：天保13年 (1842) 4月、松亭
 序。五編：弘化4年 (1821) 夏、小笠老樵序。文政12年～弘化4年初刊。明治初年再刊。「名古屋」
 紅梅園蔵板。「名古屋」永楽屋 (片野) 東四郎 (東壁堂) 売出。▽川柳・狂句・地口に色刷挿絵を
 添えた絵本ならびに絵手本。



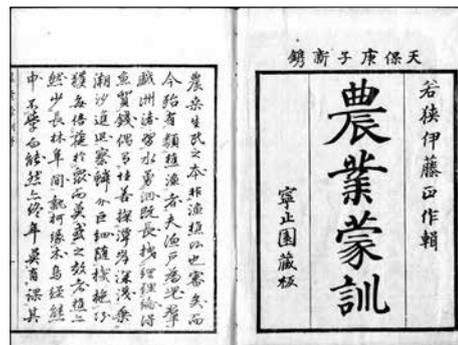
神事行灯(75巻)



穂立手引草(74巻)



農家心得種(74巻)



農業蒙訓(74巻)

江戸庶民の楽しみ、遊び、習い、学び、知恵、工夫、常識、身のまわり、
 日常生活、年中行事、都市と地方：江戸時代満喫

各巻分売可

ご希望の巻を選んで
お求めになれます!

- ◆ 稀覯・新発見資料を多載
- ◆ 挿画・図版が豊富な史料を多載
- ◆ 鮮明印刷の版本「影印版」

江戸時代の魅力 さらに広がる

『江戸時代庶民文庫』第2期
刊行にあたって

今日「江戸時代」への関心、注視の度合いは高まるばかりです。江戸時代には、庶民教育の普及による識字率の向上、また、印刷技術の進歩や出版活動の隆盛に伴う書籍の流通、そしてそれらを可能にした全国的な交通網の整備、流通の拡大、社会経済の発展などにより、庶民階級が台頭し、それまでの公家・僧侶・武家文化と異なる独自の文化が展開しました。庶民の「俗」文化が上流社会の「雅」文化を取りこみながらダイナミックに発展していった江戸時代に、現代に続く日本の伝統文化の大半が形成されたと言えましょう。

『江戸時代庶民文庫』は、当代庶民の生きる知恵と技術、生活の実相を知る基本的かつ貴重な史料を影印集録する叢書として全60巻・別巻一が刊行され(2012〜16) 幸いにも江湖に好評裡に迎えられました。しかし、見るべき残すべき価値があり「発見」が待たれている分野や資料は汲み尽せないほどあります。ここに第二期(第61〜100巻)を継続発行し、本文庫が江戸時代史料の一層充実した宝庫として広く活用されることを願っています。

平成三〇年六月

大空社出版

* 第2期には約180点の資料を収録、総16,000ページ以上の予定です。
* 全8回配本(年2回・各5巻収録、完結2021年11月予定)

第4回

(2019年11月予定)

76巻【建築・大工】収録2点 (俗説正誤「匠家必用記」(立石定準作・序)、(大工雛形)秘伝書図解(文照軒一志作・序。西村権右衛門画)

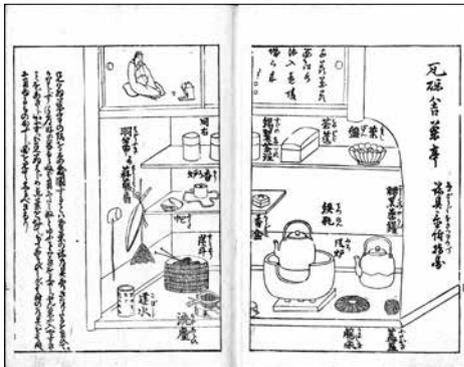
77巻【紀行】収録4点 温泉遊草(深草元政作)、鹿島日記(小山田与清作。滝山知之校・序。真斎英笑画)、相馬日記(成田遊連記)(高田与清作。北条時鄰注。大寂庵立綱序。歟形蕙斎画)ほか

78巻【暦】収録5点 暦日註釈絵抄(山田野亭作。川部玉園画)、古暦便覧(吉田光由編・序)、真暦考(2種)(本居宣長作)、和漢暦原考(石井磯岳作。希巽校)など

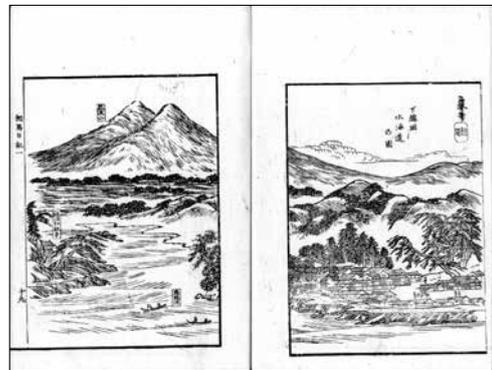
79巻【気象】収録5点 晴雨考(嘉永二年己酉歲晴雨考)(平井直之作。吉雄常三校)、(増補)民用晴雨便覧(中西敬房作・序)、(天文早考)通機図解(明逸作・序)、(運氣考)五穀人豊紀(嘉永六年癸丑年五穀人豊紀)(嶋津大定作)ほか

80巻【農村経営(地方)】収録3点 (算法入)勸農固本録(2種)(万尾時春作・序)、算法地方指南(村田恒光作。長谷川寛校)ほか

(87巻)



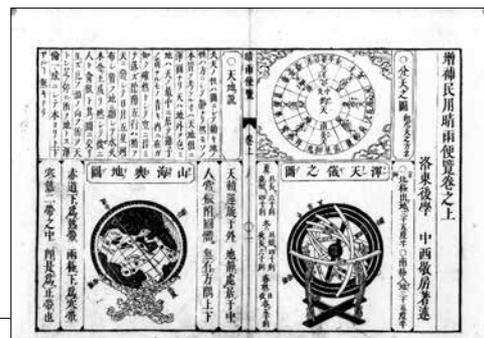
(77巻)



(89巻)



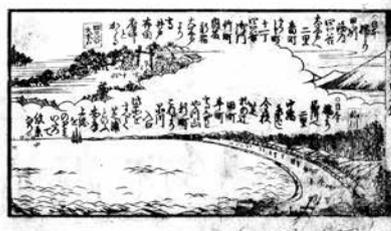
(79巻)



(90巻)



(91巻)



図版は収録予定資料より

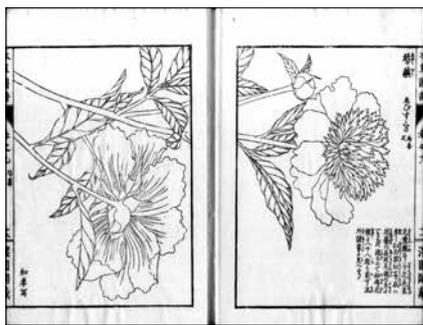
◆各配本5巻収録

各巻分売可

ご希望の巻を選んでお求めになれます!

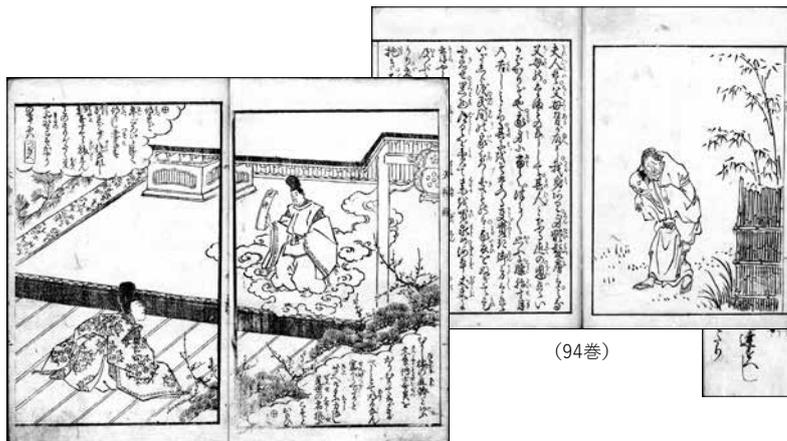
*この収録資料一覧は現在予定されている書目です。新発見史料に差替えなど、変更する場合がありますのでご了承ください。

第8回 (2021年11月予定)	第7回 (2021年6月予定)	第6回 (2020年11月予定)	第5回 (2020年6月予定)
<p>100巻 【画譜】(収録3点) 半山画譜(全3巻・別本1冊)(松川半山画)・(花鳥山水)北樹画譜(葛飾北樹画。漆園董義序)・光信画譜(絵本集草)(長谷川光信・岡山繁信画)</p> <p>99巻 【本草・植物】(収録2点) <草形出生>草花絵全書(伊藤伊兵衛四世作・画)・本草図譜(文政板)(岩崎常正作・序。岡田清福画)</p> <p>98巻 【神道】(収録6点) <小社探賈詞評>神路の手向草・小社探三段評(今西洪克作・序)・(絵入)神路の手引冊(増穂残口作・序)・神道道しるべ(初編)(野々口隆正作)・神民須知(天明5年)(小佐野某作)・(幸神)阡陌の立石(玉田永教作。佳信画) ほか</p> <p>97巻 【キリスト教(排斥)】(収録5点) 杞憂小言(准水南溪作)・斥邪漫筆・斥邪二筆(深慨隠士作・序・校。憂国野叟校)・(新撰)斥邪蘇(阿満得聞作)・破吉利支丹(破鬼理死端)(鈴木正三作) ほか</p> <p>96巻 【測量】(収録4点) 見算算規矩分等集(万尾時春作・序)・量地円起方成後編(廻分見)(剣持章行作。門人校訂)・量地図説(甲斐駒藏編。長谷川善左衛門閱。小野友五郎校。安倍勘司・鈴木金六郎序。富田彦藏跋)・(六分円器)量地手引草(村田如訥編) ほか</p> <p>95巻 【医学(養生)】(収録2点) <按腹鍼術>按摩手引(藤林良伯作)・こけぬ杖(古計努津兄)・(養生要術)姑計怒通依(故家努豆恵)(山口重匡作・序。橘南谿校)</p>	<p>94巻 【伝記】(収録10点) 孝連人物考(和合編)(菅原友山作・序)・越後孝婦伝(林愿作。篠本為直書。相田政篤跋)・菅神廟碑銘解(田沼謙注・序。服部政世跋。小山梧桐・福田敬業題字。福田半香画)・義士夜討高名咄(承天則地作)・(江州日野)孝子善治行状(門坂善太郎作・序。脇坂義堂跋)・(朝師)紀季録(加賀阿闍梨日朝上人紀年録)(一乗舎黙翁作・序)・和漢廿四孝(柳下亭種員作。歌川広重2世画。房種画) ほか</p> <p>93巻 【書道】(収録2点) 東江先生書話(沢田東江作述。橋圭橋編・自序。井純卿金峩・蚊田御風序。田世璉・関脩齡跋)・臨池求源鈔(鈴木正真作・書。独清軒序)</p> <p>92巻 【語源辞書】(収録1点) 日本釈名(貝原篤信編・序。松下見林序)</p> <p>91巻 【商業(名鑑他)】(収録2点) 町人考見録(三井高房作)・諸国道中商人鑑</p>	<p>90巻 【商業(道徳)】(収録2点) 商人生業鑑(弘化板)(岩垣光定作・序・跋。守岡光信画)・家業道徳論(河田正矩作)</p> <p>89巻 【医学(救急・看護他)】(収録5点) 看病手引歌(靈応作)・急救医法(賜民薬方・救民薬方録)(阿部正興作・序・跋)・(長生法附録)救急法、古方便覽(六角重任作・書。吉益東洞校・序) ほか</p> <p>88巻 【天文】(収録1点) <運氣曆術>天文図解</p> <p>87巻 【茶道】(収録4点) このめの説(古能免乃説)・木芽説(前田夏蔭作・跋)・茶道早合点(珍阿作・序。萩箸叟跋)・煎茶早指南(自辨茶略)(柳下亭風翠作) ほか</p> <p>86巻 【学問】(収録3点) <一覽博識>学問自在(如蘆山人作・序)・文教温故(山崎美成作・序) ほか</p>	<p>85巻 【語録(漢学)】(収録4点) 言志四録(4冊)(佐藤一斎作。源綱條校・跋)</p> <p>84巻 【祭祀(葬祭)】(収録7点) 上等葬祭図式(常世長胤作・蔵板。秋山三郎跋)・庶人喪儀式(古川躬行作・序)・葬儀心得大意(新田邦光作。水谷立五郎・南場宗利編)・葬事略記(角田忠行作。師岡正胤跋)・葬儀略(増訂併機械仮服(服返)考)(古川躬行作・序)・日本養子説・非火葬論(甘雨亭叢書・別集)(板倉勝明編) ほか</p> <p>83巻 【仏教(般若心経)】(収録6点) 般若心経絵入講釈(近沢幸山注・序。野口清岱書。一光斎芳盛画)・般若心経抄抄(玉川雲起作)・般若心経和解(知真庵序)・般若心経鈔図会(一)休和尚抄(般若心経抄図会)・心経抄図会(一)休宗純作。辻本基定編。寛嶺画) ほか</p> <p>82巻 【災異(地震・救荒)】(収録7点) 饑年要録(江戸板)(福沢憲治作・序。笹古金作編)・救荒孫之杖(雲洞作)・凶荒図録(小田切春江編。木村金秋画。勝間田稔題字。野村賀真序)・社倉勸諭并附言(足代弘訓作。沢屋重右衛門編・付言)・地震考(小島濤山作。小島東隴庵編) ほか</p> <p>81巻 【旅行・交通】(収録2点) <改正新版>増補日本汐路之記(東海北海西海南海)増補日本汐路之記(高田清兵衛編・序)・(大日本)海陸道中行程図鑑(天保7)</p>

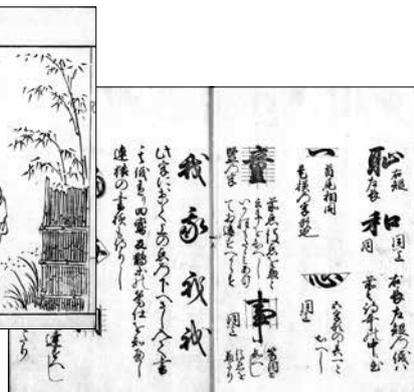


(99巻)

(98巻)



(94巻)



(93巻)

江戸時代庶民文庫

〈第2期〉第3回配本

全5巻(第71~75巻)

* 2019年4月刊

巻【ジャンル】(収録資料点数)	頁	ISBN	本体価格(税別)
71巻【戯文】(16点)	520頁	978-4-86688-071-6	22,500円
72巻【故事・俗説】(2点)	430頁	978-4-86688-072-3	19,000円
73巻【仏教】(4点)	470頁	978-4-86688-073-0	20,000円
74巻【農業】(5点)	420頁	978-4-86688-074-7	18,500円
75巻【絵本】(2点)	340頁	978-4-86688-075-4	16,000円
全5巻揃(71~75巻)	総約2180頁	978-4-86688-103-4	96,000円

[体裁] A5判・上製・クロス装

*各巻分売可

*次回・第4回配本(第76~80巻) 2019年11月刊予定

〈第2期〉既刊

本体価格(税別)

第1回配本	全5巻揃(61~65巻)総約1810頁	978-4-86688-101-0	78,000円
*2018年6月刊			
61巻【園芸・飼育】(4点)	320頁	978-4-86688-061-7	14,500円
62巻【科学(化学・物理・理学)】(4点)	450頁	978-4-86688-062-4	19,500円
63巻【食養生】(2点)	380頁	978-4-86688-063-1	16,200円
64巻【料理・近代家政】(4点)	350頁	978-4-86688-064-8	14,500円
65巻【絵画(入門書)】(1点)	310頁	978-4-86688-065-5	13,300円
第2回配本	全5巻揃(66~70巻)総約2130頁	978-4-86688-102-7	88,000円
*2018年11月刊			
66巻【笑話・小咄】(4点)	350頁	978-4-86688-066-2	14,800円
67巻【物産】(2点)	590頁	978-4-86688-067-9	23,400円
68巻【歌謡】(7点)	320頁	978-4-86688-068-6	14,000円
69巻【教育・学問】(4点)	390頁	978-4-86688-069-3	16,200円
70巻【人物辞典】(1点)	480頁	978-4-86688-070-9	19,600円

詳細案内進呈*下記へご請求を

《第2期》第61~100巻

江戸時代の庶民生活の諸相を
貴重な版本(影印)で見せる一大叢書
収録分野・領域(ジャンル)が
さらに多彩な広がりを見せる

◆稀覯・新発見資料を多載
◆挿画・図版が豊富な史料を多載
◆鮮明印刷の版本「影印版」

【第2期収録予定のジャンルより】(予定)

紀行 旅行・交通 学問 語録(漢学)
語源辞書 茶道 書道 仏教(般若心
経) 祭祀(葬祭) 天文 気象 災異
(地震・救荒) 測量 本草・植物 曆
医学(救急看護他) 医学・養生 商業道
徳・名鑑他 建築・大工 農業 農村経
営(地方) 伝記(人名辞典) キリスト教
(排斥) 神道 画譜：他

江戸時代の生活分野に関するあらゆる研究に有益この上なし!

教育・民衆・女性・生活・社会・風俗・芸能・医学・経済・宗教・
絵画・出版…の歴史、美術・イラスト・デザインの素材…

*各巻分売可

全60巻を縦横無尽に駆け巡る!

「江戸庶民」の生活を知る

江戸時代庶民文庫 別巻「解題・索引」

A5判・上製・660頁
978-4-908926-02-0 28,000円(税別)

〈第1期〉全60巻・別巻1

江戸時代庶民文庫 全8回配本 (2012~2016)



[体裁] A5判・上製・クロス装

詳細案内進呈*下記へご請求を

好評発売中!

学術資料出版

大空社出版

©OZORASHASHUPPAN 2019

東京都北区中十条 4-3-2 (〒114-0032)
TEL:03-5963-4451 / FAX:03-5963-4461
www.ozorasha.co.jp / eigyo@ozorasha.co.jp

・お取扱い